

<申込制・参加無料>
定員100名先着順

市民フォーラム

～能登半島地震から10年、私たちが これから備え、行動すべきこと～

発生から10年となる能登半島地震を改めて振り返り、災害に強い地域づくりやこれから起こりうる地震への備えを考えます。また、市民や地域の防災リーダーが実践していく内容です。多くのみなさまのご来場をお待ちしております。

日時
会場

2017年
3月19日 日 14:00-16:00
(受付:13:30～)

KKRホテル金沢〔3階 鳳凰A〕

【会場アクセス】

- 徒歩：金沢駅から25分
- バス：「尾張町」下車
(徒歩5分)

第1部
14:10～
14:40

「発生から10年、いま振り返る能登半島地震」

- ・能登半島地震発生当時の状況、被害の概要
- ・これからの備え、復興のための課題

講師:木村 拓郎 氏(一般社団法人 減災・復興支援機構 理事長)

第2部
14:45～
15:15

「災害ボランティアの視点から見た震災～今日から始める明日への備え～」

- ・平時から地域で市民や防災リーダーが取り組む減災対策とは
- ・災害発生時に取るべき行動とは

講師:浦野 愛 氏(特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 常務理事)

第3部
15:30～
16:00

質疑・ディスカッション

事前にいただいたご質問に上記講師2名がお答えいたします。

主催 一般社団法人日本損害保険協会

特別協力 MRO北陸放送

日本損害保険協会の取組みがMROテレビで放送されます。

3月20日(月)～22日(水) 22:54～

* MROテレビ関連放送 能登半島地震から10年 報道特別番組

3月24日(金) 16:53～19:00

登壇者紹介

^{きむら}木村 ^{たくろう}拓郎 氏：一般社団法人 減災・復興支援機構 理事長

出身地は宮城県石巻市、東日本大震災では実家も被災。1971年から減災対策の仕事に従事。これまで阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災などの復興計画の策定に参画。これら被災地支援を通じて得た知識をもとに避難生活や生活再建方策などの減災活動の啓発に力を入れている。現在は、日本災害情報学会の事務局長（理事）を務める。

^{うらの}浦野 ^{あい}愛 氏：特定非営利活動法人レスキューストックヤード 常務理事

阪神・淡路大震災では、大学の学生が設立した支援サークルに所属し、被災者支援にあたった。卒業後、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。災害ボランティアの専門家として、これまで、能登半島地震や東日本大震災などの救援・復興支援活動を行うとともに、愛知県等で災害時要援護者の避難所対策や避難支援事業に参画。現在は、日本災害復興学会の理事を務める。

お申込み（参加無料・定員100名）

【メール・ファクスにて下記の必要事項をご記入ください】

✉ : hokuriku@sonpo.or.jp

FAX : 076-221-0482（本チラシをご利用いただけます。）

申込締切
3月16日（木）

お名前（フリガナ）：

※参加を希望される方が複数の場合、全員のお名前を記入してください。

ご所属：

電話番号：

Eメール：

質問内容：

※フォーラム当日に、特に聞きたい質問内容がありましたら、ご記入ください。

※お送りいただいた個人情報は、本イベントに係る事務以外に使用することはありません。